

## 令和4年度第8回 感染症発生動向調査部会

令和4年11月16日

月番：澤田 明

### 1 前月の感染症発生動向について（2022年第40週～43週・10月）

#### <全数把握対象疾患>

- 一類感染症の報告はなかった。
- 二類感染症：結核は21例あり、毎週コンスタントに報告された（前年比：94.8%，2019年比：68.1%）。
- 三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症は、3例（O157：2例、その他：1例）報告された（前年比：121.9%，2019年比：39.8%）。
- 四類感染症
  - ✓ レジオネラ症は、8例報告された（前年比：97.9%，前前年比：95.8%）
  - ✓ 他に、ブルセラ症1例、つつが虫病1例の報告があった。
- 五類感染症
  - ✓ 毎週コンスタントに報告された疾患は、梅毒であった。
  - ✓ 侵襲性肺炎球菌感染症は2例報告された（前年比：64.3%，前前年比：36.7%）
  - ✓ 梅毒は13例の報告があった（前年比：151.5%，前前年比：151.5%）
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症は、17613例報告された。

#### <定点把握対象疾患>

- 前月と比較し増加傾向にある疾患
  - ✓ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（前月比：162.8%，前年同期比：140.0%）
- 前月と比較し横ばいにある疾患
  - ✓ 感染性胃腸炎（前月比：100.4%，前年同期比：126.9%）
- 前月と比較し減少傾向にある疾患
  - ✓ RSウイルス感染症（前月比：20.1%，前年同期比：150.0%）---収束傾向
  - ✓ 手足口病（前月比：50.1%，前年同期比：4111.1%）---収束傾向
  - ✓ 突発性発しん（前月比：66.8%，前年同期比：75.6%）
  - ✓ ヘルパンギーナ（前月比：28.8%，前年同期比：18.5%）---収束傾向
- インフルエンザの流行は今のところみられない。

### 2 検討すべき課題

- 梅毒について
- ロタウイルスワクチン定期接種の評価について（事務局から）

### 3 その他（感染症対策推進課から）

- ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について
- 鳥インフルエンザ発生状況